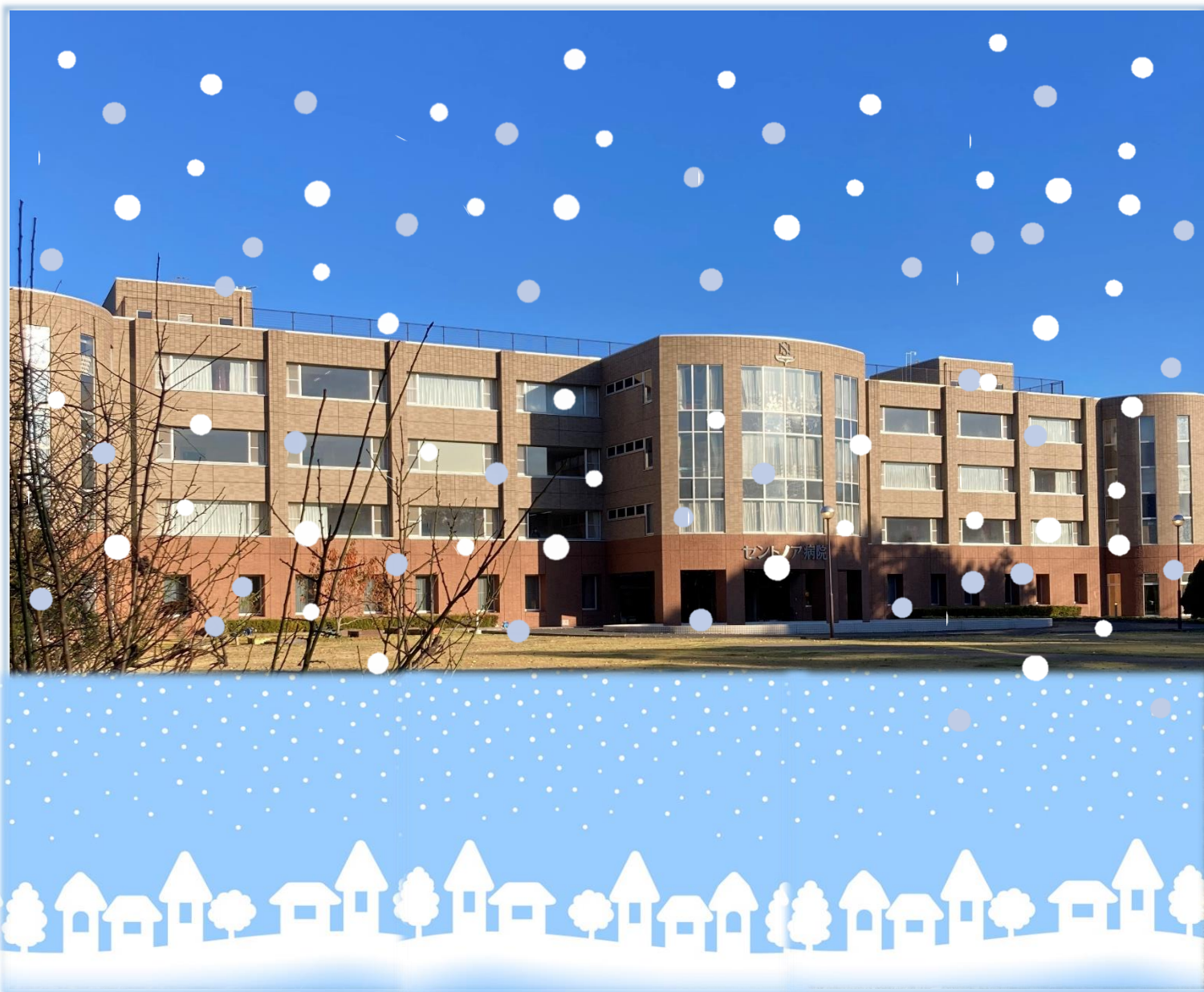




# ノアの爽風



### ～目次～

- 病院短信『RS ウイルスとそのワクチン』
- 看護日誌
- 介護だより
- 日常の一コマ
- 『冬ですな』

- 佐々木 強
- 山田 純
- 川口 大輔
- 永井 優子
- ナナ

## 2月の予定

### ◆誕生日会(節分)

1病棟: 14日(水) 14:30~	} 各病棟にて
2病棟: 15日(木) 14:30~	
3病棟: 9日(金) 14:30~	



患者さんの今年一年の健康を願ってセントノア獅子が舞い降りました~

おや?今年の獅子舞はいつもと違う?

餅つき

獅子舞



餅つきだー!よいしょ!



健康を願って、ガブリ!



### 今月のナナ

冬ですな (\*~\*)

そうよ、寒いよ!

座布団出して!

ナナ、丸まってる!

ホカホカ

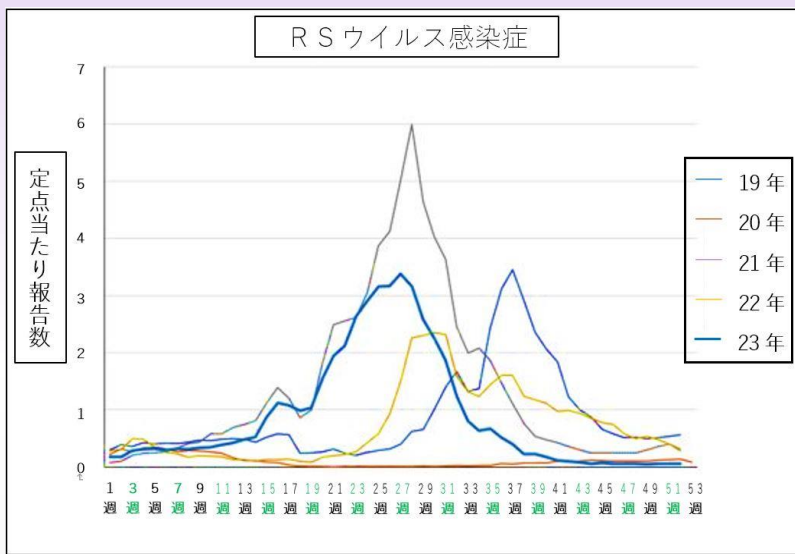
冬は、コレよ (^~^)

座布団どうぞ





『RSウイルスとそのワクチン』  
RSウイルス感染症はRSウイルスによる呼吸器の感染症です。日本を含めて世界中に分布しています。2歳までにほぼ100%が感染を経験し、その後も何度も感染と発病を繰り返すとされています。症状としては、発熱、鼻汁などの軽い風邪様の症状から様々で、重い肺炎になることもあります。流行の時期は年により違いがあり、2021年は秋にピークがありました。2023年は図のように、5月から増え7月にピークとなり秋には減少しました。



RSウイルスは飛沫感染や接触感染で広がります。空気が乾燥し、ウイルスが生き残りやすくなり、潜伏期間は典型的には4〜6日間、発熱や鼻汁が数日続きます。多くは軽症で自然軽快しますが、咳がひどくなる、喘鳴、呼吸困難となることもあります。生後6ヶ月以内では経過に注意が必要です。乳児は入院外来共に迅速抗原検査が健康保険の適応となっています。



# 日常のーコマ

今月は京子さん（90歳）のーコマです。昭和9年東京都にて6人兄弟の2番目として生まれ、父親の仕事の関係で幼少期から学生時代を新潟で過ごされました。高校卒業後に上京され、茶道師範を取得し、指導者として生計を立てていました。20歳の時に結婚され、2人のお子さんに恵まれ、その後も茶道の指導者として、またアパート経営でも生活を支えていたとのこと。この時代には珍しく自動車の免許も取得して、子供たちを車で買物に連れて行くなどの思い出があるそうです。子供たちが独立した後は独居されていましたが、平成6年頃から長男さんと同居するようになりました。その時も茶道の指導をしながら、手作り弁当を作って、会社へ送り出してくれたことが懐かしくとても嬉しかった思い出ですと長男さんが語ってくれました。平成26年（80歳）頃から認知機能の低下（今、食べたことを忘れる・昼夜逆転）・服の着脱を繰り返す・火の消し忘れが多くなるといった認知症状がみられるようになりました。令和1年には介護されることを怒る・夜間に長男を起こして助けを求めるといった症状も現れ、家族が不眠となり、物忘れ外来にて血管性病変を伴うアルツハイマー型認知症と診断され都内の精神科病院に入院されました。頻回にスタッフを呼ぶなど「多動混乱」（思いついたことを即座に行動に移し、秩序を失うこと）や痛みの訴えや食思不振も出現し、長期療養が必要となり令和2年5月に当院に入院されました。

入院当初の京さんは、シルバーカーで自室とトイレを頻回に往復され、不穏な状態も続き介護抵抗もみられました。また、不眠がちで夜間は色々な訴えが多ありましたが、安心してもらえるように話をゆっくり傾聴し、寄り添うことで徐々に落ち着き、スタッフと話をすることも笑顔がみられるようになりました。また、骨折をされてからは、手すりや支えが必要ですが、毎日トイレでの立ち上がりも頑張っています。茶道師範をしていたので、「お茶の先生」と声をかけるとニコッと笑顔になります。「お茶は相手の事を想って点てるのよ」とジェスチャーでお茶の点て方と飲み方を教えてください。真似をすると笑顔で「とてもお上手よ」と先生の顔になります。この笑顔が続くよう温かいコミュニケーションを心がけ、理解を深め支援をしていきたいと思ひます。



3病棟 介護主任 永井 優子

成人では通常は感冒様症状ですが慢性閉塞性肺炎などの基礎疾患を有する高齢者では重症肺炎を起こすことがあります。感染対策は、環境の消毒（アルコールや塩素系消毒剤など）、着用できる子どもや大人はマスクを使用することです。特効薬は無く、治療は各種症状を和らげる対症療法が行われます。予防方法は、ワクチン接種があります。昨年11月1月にかけて相次いで高齢者用ワクチンと母子免疫ワクチンが厚生労働省から製造販売承認を認められました。高齢者用ワクチンはGSK（グラクソ・スミスクライン）社の「アレックスビー（AREXBY）」です。2023年9月25日承認されました。アレックスビーはウイルス表面タンパクの一部を抗原とした組み換えワクチンです。米国のCDC（疾病予防管理センター）の評価によれば、60歳以上でワクチンにより下気道疾患（細気管支炎、肺炎など）を74.6%、医療機関の受診を77.5%減少させました。1回筋肉内接種をします。日本では2024年1月15日に発売され、医療機関によって費用は2万5〜7千円位です。母子免疫ワクチンはファイザー社の「アブリソボ（ABRYVO）」です。こちらも組み換えワクチンで、1回筋肉内接種します。有効性と安全性が国際共同試験（MATISSE試験）で確認され、2023年4月に論文が発表されました。母子免疫は妊婦（妊娠28〜36週）に接種することにより、母体のRSウイルスに対する中和抗体価を高め、それが胎児に移行し、出生時から乳児におけるRSウイルスを原因とする下気道疾患（細気管支炎、肺炎など）を予防することが期待されます。2024年1月19日承認されました。



# 看護日誌



3病棟 看護師 山田 純

今年が始まって1ヶ月が過ぎましたね。コロナやインフルエンザが流行していますが、感染しないために

- ①適度な活動と休養のバランス
- ②からだを温める
- ③ストレスを減らす
- ④バランスの良い食事を摂る
- ⑤よく笑う

よく笑い、たくさん食べて、たくさん眠って、からだを動かして、免疫力を高めて強いからだを作って行きましょう。



# 介護だより

1病棟 介護福祉士 川口 大輔

気が付けば入職して7年、歳も40代となりました。前回の介護だよりで何を書いたか思い返してみると、コロナ禍の自粛が緩和されたら旅行や自転車で遠出したいと書いた覚えがあります。それから数年がたちますが、なかなか友人と休日合が合わず県外で2〜3泊の旅行には行けてません。それでも県内・都内の日帰りのプチ旅は何度か行きました。普段降りない駅や行ったことのない地域は新鮮で楽しく、ラーメンや丼物もおいしかったです。今年はこのようちよとした楽しみをたくさん発見し、ストレスのコントロールにつなげたり、患者様とのコミュニケーションに役立て、患者様と楽しく過ごせるよう努めて参りたいと思ひます。